

teamnote **CAM**

スポーツ向けビデオカメラ GY-TC100

teamnote CAM 機能設定マニュアル

目次

・タイムシフト	:	P. 3 ~ P. 4
・アプリ連携 (リモートレビュー)	:	P. 5 ~ P. 1 0
・アプリ連携 (データ保存)	:	P. 1 1
・アプリ連携 (お絵描き)	:	P. 1 2
・アプリ連携 (比較再生)	:	P. 1 3
・アプリ連携 (映像共有)	:	P. 1 4
・アプリ連携 (セルフチェック)	:	P. 1 5
・特徴		
タグ付け	:	P. 1 6 ~ P. 1 7
シャッタースピード	:	P. 1 8 ~ P. 1 9
・機能ごとの条件整理	:	P. 2 0

タイムシフト

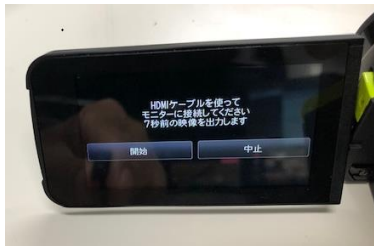


カメラのフリップを開けると電源が入ります。

モニターの右下にある“MENU”をおします。



画面が切り替わり、メニューから
右下の“HDMIタイムシフト”を選びます。



設定が自動でスタートします。



カメラ本体の後ろにあるHDMIの接続口に
HDMIケーブルを差し込みます。

タイムシフト



カウントダウン（7秒間）がスタートします。



HDMIケーブルで接続したモニターには
7秒前の映像が流れ続けます。

■ポイント

- ・ 音声は再生されませんのでご注意ください。
- ・ 画質はSD（720×480）
50インチのモニターでも問題なく表示されます。
- ・ 活用シーン
野球のピッチング、バットスイング、バスケのフリースローなどの反復練習

アプリ連携 (リモートレビュー)



カメラとタブレットを用意します。



モニターの右下にある"MENU"をタップします。



"アプリを使う"を選びます。



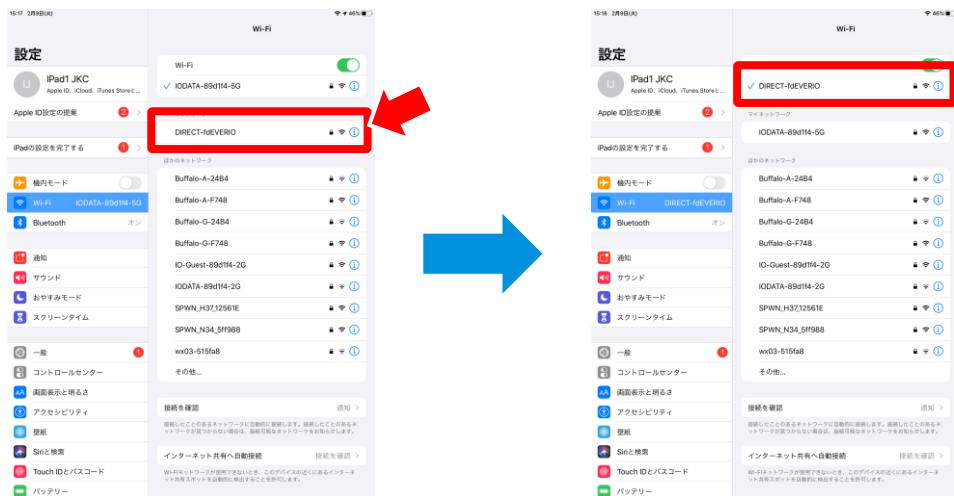
カメラとタブレットのアプリを連携させます。

アプリ連携 (リモートレビュー)

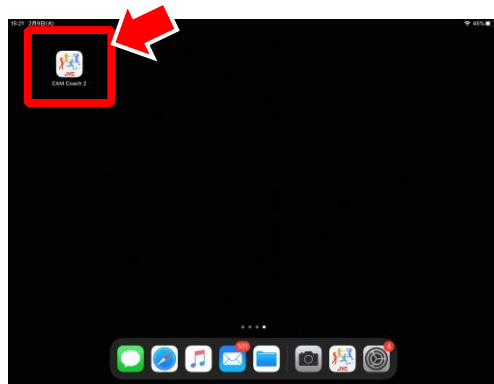


タブレットとWi-Fi接続するメッセージがでます。
この際、画面下部のPASSを覚えておいてください。
接続するタブレット側でWi-Fiの接続登録するために必要です。
(初めて接続する時のみ)

タブレットのWi-Fi接続を設定する画面で、“DIRECT-〇〇EVERIO”とあるネットワークを選択し、PASSに上記のコードを入力して接続してください。



アプリ連携 (リモートレビュー)



Wi-Fi接続後、予めApp StoreやGoogle Playからダウンロードしたアプリ“JVC CAM Coach 2”を立ちあげます。

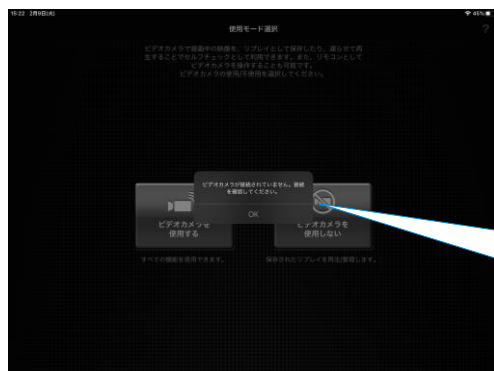


モード選択の画面で、“ビデオカメラを使用する”を選びます。

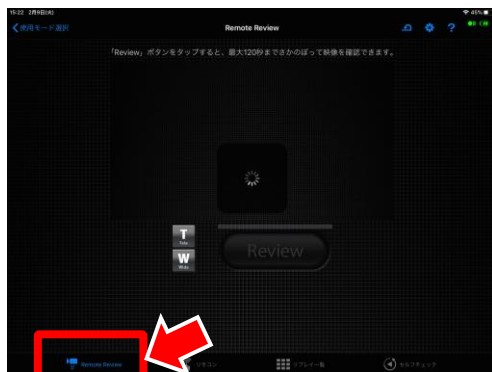


ビデオカメラとWi-Fi接続されている場合でもメッセージ：

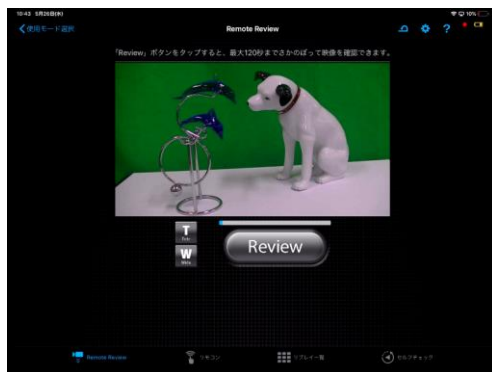
「ビデオカメラが接続されていません。接続を確認してください。」
がでる場合は、“OK”をタップし、再び、“ビデオカメラを使用する”を選んでください。



アプリ連携 (リモートレビュー)

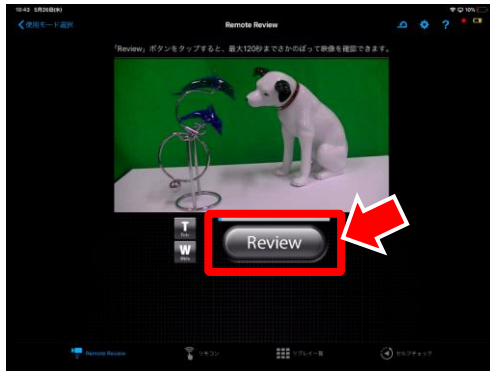


タブレット画面左下の“Remote Review”を選びます。



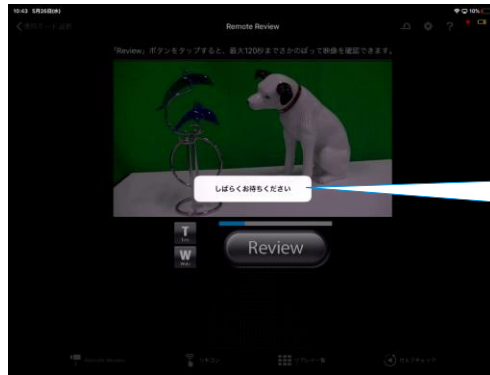
画面が切り替わり、Remote Reviewが開始されます。
最大120秒間の映像をカメラ本体で保持します。

アプリ連携（リモートレビュー）



タブレットから“Review”をタップすることで、映像データをタブレットへ送信します。

送信中は、
メッセージ：「しばらくお待ちください」
がでます。



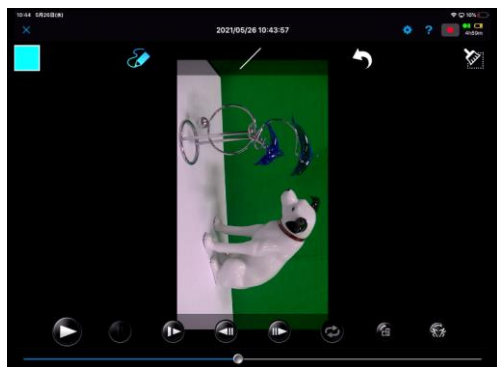
しばらくお待ちください

[参考] 送信時間は120秒の映像データで10秒程度です。

アプリ連携 (リモートレビュー)



受信したデータは、通常再生、コマ送りの他シークバー等でコントロール可能です。



画面を回転させることもできます。



反転 (ミラー表示) も可能です。

アプリ連携（データ保存）

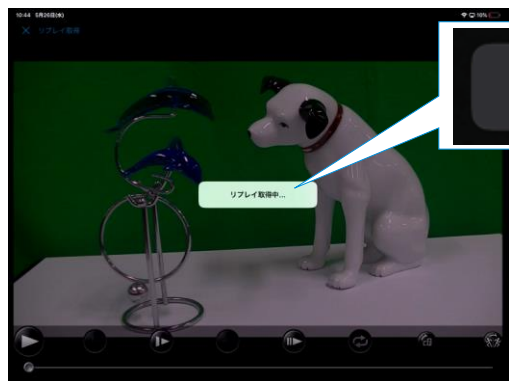


また画面左上の“リプレイ取得”で、タブレット内にレビュー映像を保存することが出来ます。

リプレイ取得

※上記操作をしない場合は、保存がされませんのでご注意ください。

取得中、取得完了のメッセージが表示されます。

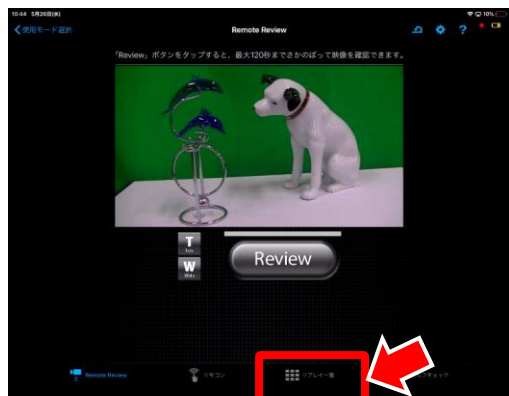


リプレイ取得中...



リプレイを取得しました。

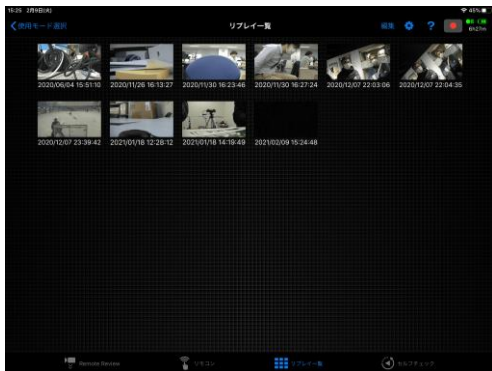
OK



保存が完了したデータは、画面下の“リプレイ一覧”で確認できます。

リプレイ一覧

アプリ連携（お絵描き）

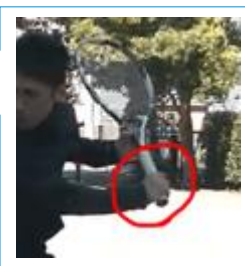


保存した映像は“リプレイ一覧”で管理されます。

一覧から1つの映像を選びます。



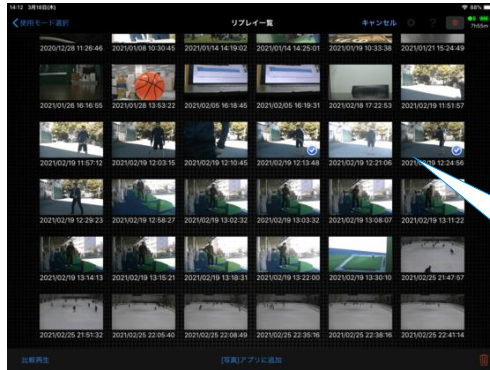
保存した映像では、画面上に自由に直線や丸、チェックなどを描くことができます。



また直線を2本引くと、自動で角度、双方の長さ（比率で表示）を算出します。

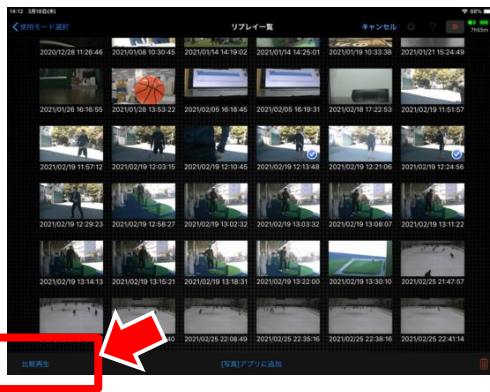
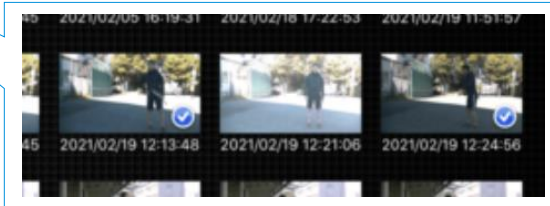


アプリ連携（比較再生）



“リプレイ一覧”を開きます。

右上の“編集”をタップし、一覧から2つの映像を選びます。



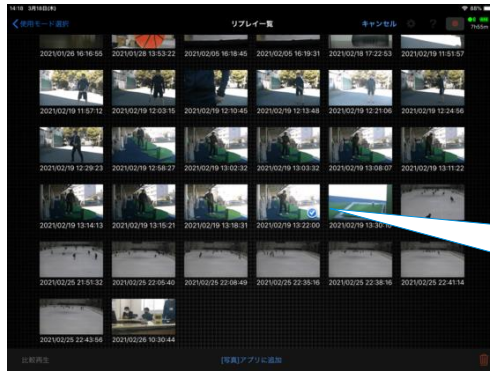
選択後、画面左下の“比較再生”をタップします。

比較再生



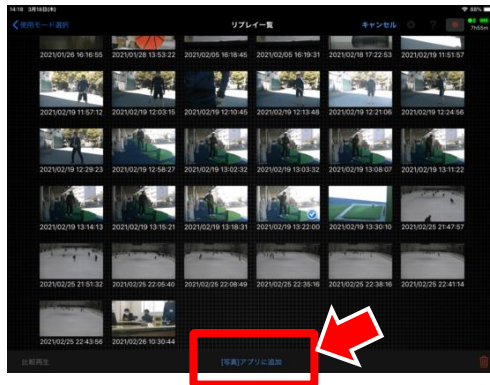
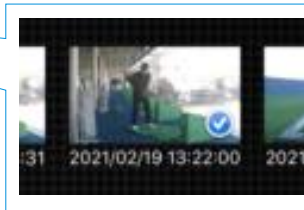
左右でそれぞれの映像を再生、また2つの映像をそれぞれ再生するタイミングの変更が可能で、手動で同期をとることが出来ます。

アプリ連携（映像共有）



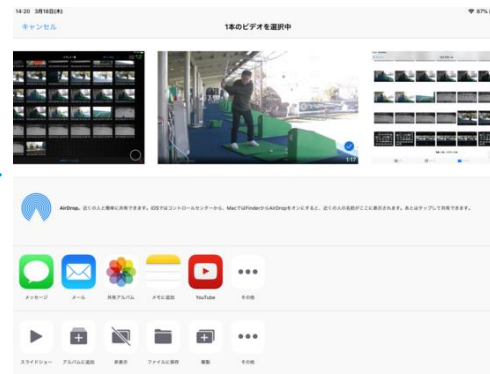
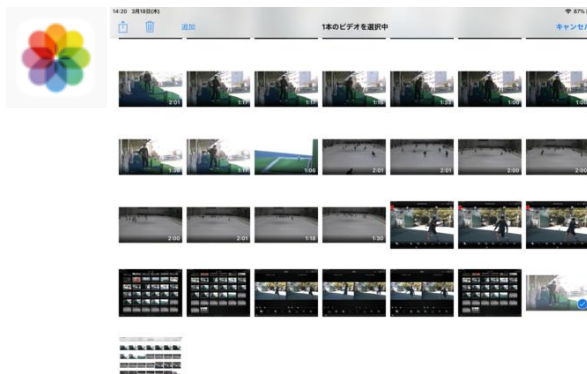
“リプレイ一覧”を開きます。

右上の“編集”をタップし、一覧から映像を選びます。



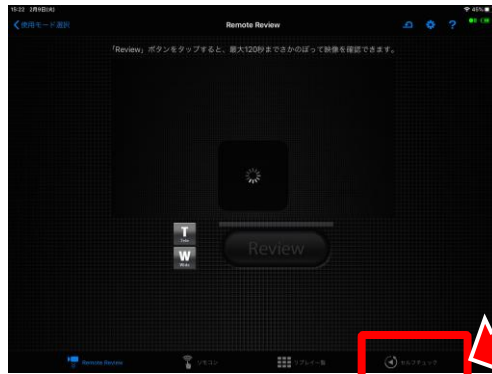
“[写真]アプリに追加”をタップします。

[写真]アプリに追加

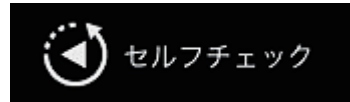


タブレット本体の写真アプリ（iPadの場合）に移動し、SNSへのアップや、LINE等での共有に使えます。

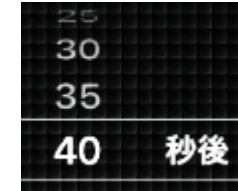
アプリ連携 (セルフチェック)



タブレット画面右下の“セルフチェック”を選びます。



遅延時間は、5秒～最大40秒まで
5秒単位で設定可能です。



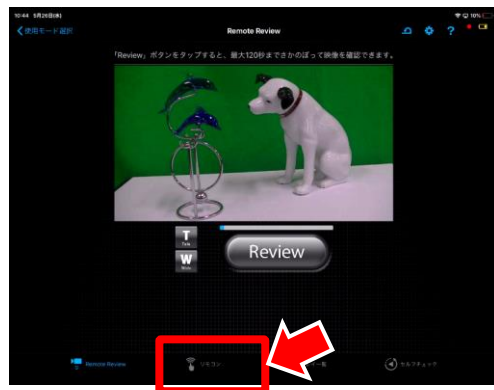
遅延時間を設定後、“スタート”をタップすると、その後続けて、
設定した遅延時間で映像が流れ続けます。

特徴1：タグ付け

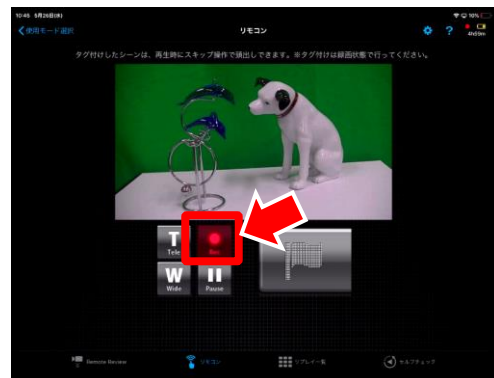


録画中、映像の任意のポイントでタグ（印）をつけることができます。

※再生時に、タグをつけたポイントへワンタッチで飛ぶことができます。



JVC CAM Coach 2アプリで、タブレット画面下の“リモコン”を選びます。



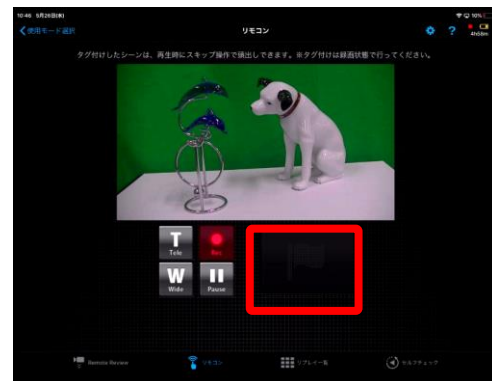
“Rec”をタップして録画状態（赤色に点灯）にします。

※既に録画状態であれば操作は不要です。

特徴1：タグ付け



録画状態でタグをつけたいタイミングで、フラッグマークをタップするとタグをつけることができます。

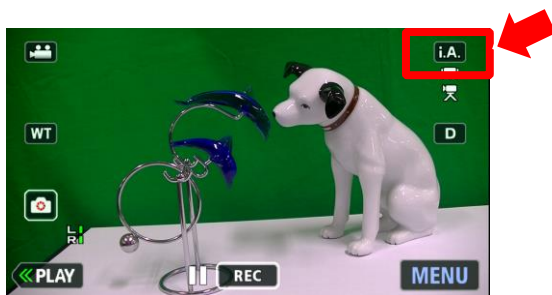


※フラッグマークが暗転しているときはタップしてもタグをつけることができません。
数秒間待っていただき、上図状態で再びタップしてタグをつけることができます。

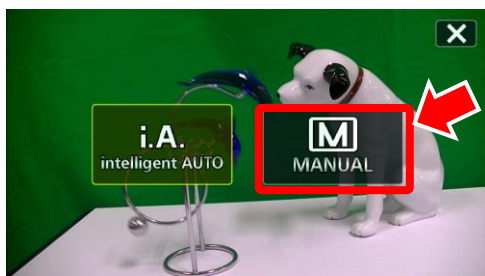


アプリでタグをつけると、カメラの画面上にもフラッグマークが表示されます。

特徴2：シャッタースピードの固定、任意設定



カメラ本体のモニター右上に表示される“iA”をタップします。



画面タップで“MANUAL”を選びます



カメラ本体の設定がマニュアルへ切り替わります。

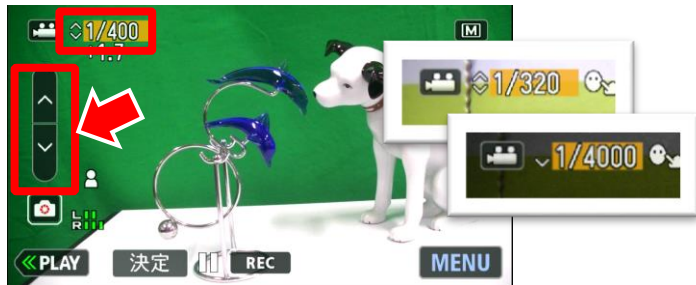
特徴2：シャッタースピードの固定、任意設定



カメラ本体のモニター右下の“MENU”をタップします。



撮影設定から“シャッタースピード”を選びます。
続いて、“MANUAL”を選択します。



画面左の矢印で設定、1/50~1/4000の設定が可能です。

※シャッタースピードをあげると、画面が暗くなりますので
ご注意ください。



シャッタースピードをあげることで、スイングのような高速な動きも、停止時に明確に確認することが出来ます。

機能ごとの条件整理

	本体記録	再生	タブレット 保存	ファイル 形式	CODEC	フレーム レート	画質
タイムシフト (HDMI)	×	○ (HDMI)	×	—	—	60P	720x480 (NTSC)
リモートレビュー	×	○ (タブレット ・スマホ)	○	MP4	H.264/AAC	60P	1280x720 (HD 720p)
セルフチェック	○	○ (タブレット ・スマホ)	×	—	MJPEG	15P	640x360